

無電源型雨水用浄水器による防災および地域コミュニティ向け水供給体制強化の案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：紀和工業株式会社
- 提案企業所在地：高知県高知市
- サイト・C/P機関：ペルー国プーノ、ロレト、アレキパ、トゥンベス、クスコ、リマ・国家市民防災局(INDECI)など

開発課題

災害時における安全な飲料水へのアクセス

- 災害による影響：洪水、土石流、地震・津波、火山噴火などによって水源が破壊・汚染されたり、上水システムを含むライフライン体制が打撃を受ける。
- 災害時の給水体制：中央・地方行政機関による住民への支援が隅々まで行き届かない。
- 災害時の飲料水の取り扱い：水の浄化、殺菌が徹底されず、健康被害などの二次災害が懸念される。

中小企業の技術・製品

防災王

- 雨水を飲料水化できる浄水タンク。
- 軽量化されており、電力は不要。
- 上水システムなどのない地方においても、災害時または常用として活用可能。



調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 技術協力プロジェクト：地方行政機関やコミュニティが災害リスクに備えるための計画作成、能力強化支援をする。
- 中小企業ノン・プロジェクト：コミュニティへの防災王の設置により、災害時の安全な水へのアクセスを促す。

日本の中小企業のビジネス展開

- ペルーでの安全な水へのアクセスは重要課題である。地方では特に上水システムが不足しており、住民は災害時には被害を受けやすい。防災王の生産を一部現地化することによってコスト削減を図り、ペルーのみならずラテンアメリカ全体への普及が見込めるサービス体系を確立させる。